らしんばん RASHINBAN

No.650
2015年5月15日

ボーイスカウト東京目黒１団機関誌
発　行：高 根 博 信
東京都目黒区中央町2-37-8　TEL 03-5704-4047
http://www.bs-meguro1.com/

創刊・第650号です

らしんばんは1959年の創刊より56年目、650号を迎えました！
今号は特別増頁、次のステップを目指す1団の今をお伝えします。

「団委員長メッセージ」

高根 博信

4月19日合同体験集会及び26日のビーバー隊体験集会には40人のボーイスカウト活動に興味のある子供さんに参加して頂きました。

天気も良く春の青空の下活動ができた事に感謝しております。また19日の全隊合同の経験集会ではボーイ隊が美味しいホットケーキを用意して頂き、またベンチャー隊が大型建築物を組み上げそれを利用して手旗でのゲームを全隊で行い大変有意義な活動だったと感じております。またカナダ　バンクーバーリッチモンド12団のケビン隊長も出張中の忙しい中駆けつけてくれました。

ケビン隊長からの I had good time with Meguro 1 troop scouts, See you again のメッセージを皆さんにお伝えておきます。

体験集会のビラを最寄の小学校に届けて頂いた保護者の皆様、また当日受け付けのサポートをして頂いたビーバー隊・カブ隊の保護者の皆様にはこの場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

特集！体験隊集会

ボーイスカウトの仲間を増やそう！

ボーイスカウトの仲間、1団の仲間をもっと増やそう！という目的で、子供にはスカウト活動の楽しさを体験してもらい、保護者には活動がどういうものかを理解して頂く体験隊集会「ボースカウトと一緒に遊ぼうデー」を4月19日（日）祐遊広場で開催しました。

集会の実施に当たっては父母の皆様の協力で近隣の小学校に事前に告知ビラを配布しました。また、当日の受付等運営のサポートにも多くの保護者の方々にご協力いただきました。

当日は朝から雲が多く天気が心配でしたが、無事に終了することができました。

集会に参加してくれたのはビーバー年代が23名！スカウト達と一緒にゲームをやったり、ボーイ隊が焼いたパンを食べたりといろいろな体験をしてもらいました。

また参加いただいた保護者の方々には、田邊副団委員長よりスカウト活動についての説明をおこない活動への理解を深めて頂きました。

なお、26日の集会も「体験」を設定いたしましたが、なんとここでも20名の参加を頂きました。

これを機に大勢の仲間が増えるといいですね！！！

ビーバー隊に大勢の体験者が来てくれました！

スカウト8名に対して体験者23名！！の参加がありました。

カブ隊・ボーイ隊・ベンチャー隊の活動を身近で感じ、ボーイスカウトの大きさを体感できた１日でした。

ビーバー隊のスカウトは、相変わらず元気で、緊張気味に参加している体験の子ども達を盛り上げてくれました。

4月26日に行われた「ビバリンピック」＝ビーバー隊の運動会も体験型で実施し、20名の方が参加してくれました。

カブ隊は元気な活動をアピール

残念ながらカブ隊には体験の子どもは来ませんでしたが、カブ隊は「追跡」をテーマとし、祐天寺の境内全体を舞台としたプログラムを行いました。

このため、活動している姿を体験者やその保護者へアピールすることができました。

カブ隊のプログラムが終わると、他隊と合流して全体ゲームを楽しみました。

ボーイ隊・一泊キャンプ＆美化工作展示＆軽食サービス

体験集会の前日から祐天寺のゆうゆう広場をお借りして、一泊キャンプを行いました。

集会の午前と午後を使って、野外でキャンプする際に使う道具を自作する美化工作のプログラムを組み、ブルーシートと竹の骨組みで作った屋根と、合板と竹の骨組みで作ったテーブルを作成しました。

当日はとても風が強く、強く張った縄がちぎれてしまい、せっかく建てた屋根が倒れてしまうアクシデントもありましたが、風が弱まった時を見計らって建て直し、体験集会で無事に展示することができました。体験集会当日の昼頃に狙ったかのようににわか雨が降り出し、早速役立てることができ、ボーイ隊のスカウトや他隊のスカウトにも、ボーイ隊の活動の意義を見せられる良い機会になったと思います。

また、当日ダッチオーブンを使ってパンを作成し体験に参加いただいたお子さんや保護者、スカウトに提供し大好評でした。

ベンチャー隊・大型構築物（信号塔）作成

今回の体験集会において、ベンチャー隊としての技量をご覧頂くために大型構築物を選択した趣旨としては三つの狙いがありました。

1.ベンチャー隊らしくあり、またボーイスカウトとして一貫性のある技を披露すること（ボーイ隊の食卓などの美化工作以上の物）

2.その成果物をゲームで有功に活用すること

3.隼章の進級課程であること（地区のスカウトにも声をかけ、機会を共有しました）

限られた時間で完成させることに緊張感はありましたが、自立した信号塔を作ったことはなく、スカウトにとっても貴重な経験になったと思います。

スカウト各自には反省点があり、その反省を活かすためにも今後も披露する機会をつくり継続していきたいと考えております。

また、体験集会において、日頃の学校生活では体験できない、この様なモノ・コトをご覧いただきボーイスカウトの素晴らしさを実感して頂けると幸いです。

今年の体験集会は、予告ビラの配布から当日の受付などの運営サポートなど多くの保護者の方々にご協力を頂きました。ボーイスカウトの活動は、全て「奉仕」で成り立っておりますので保護者のバックアップが欠かせません。このような視点からも今回の集会は大成功だったと思います。
今回の活動にご協力いただいた保護者の方より素敵なメッセージを頂きました！

保護者のバックアップ これも1団のパワー！

『体験集会がなぜあるかと言うと、4 月になって、もっとたくさんの人に参加してもらうために、もっとたくさんの人にボーイスカウトがどのようなことをしているか知ってもらうためです。』
体験集会があった日に、こどもが書いた日記の一文です。「ふーん、今日のことをそんな風に受け止めていたのか」と思いました。
一年程前、「ボーイスカウトって、どんなだろうね？」と子供と体験集会に参加した頃が懐かしく思い出されます。
あれから月日が流れ、我が子はビーバー隊の活動をとても楽しんでおり、よく日記に書いたりします。さきほどの一文、本人なりに、目黒一団の一員（仲間）である意識が芽生えているんだなと感じました。
こどもは家庭に次いで、学校ですごす時間が長い訳ですが、その他にも、自分の場所があるというのは、こどもの社会性に広がりを持たせてくれるんだろうと改めて思いました。
今年、保護者である私も、目黒一団の仲間として体験集会に参加させて頂きました。団が一層盛り上がっていくのを願う多くの方々の気持ちがひとつになった体験集会だったと思います。
その気持ちが、体験にきてくれた御子さん、親御さん達のもとにも届いていたらいいなと願う次第です。
体験集会の冒頭、来日中だったカナダのリッチモンド 12 団（目黒一団の姉妹クラブ）のケビン隊長が、体験集会に集った全ての子供たち、大人たちに、素敵な言葉を送ってくださいました。
”Please Have Fun！”
「体験にこられた方も、お迎えする皆さんも、それぞれの立場でこの体験集会を楽しんでください！」というメッセージであったかと…
このメッセージ、体験集会だけに留めては、とても勿体ないですね。
これからの様々な機会においても、自分の、そして、まわりの人の、”Have Fun！”の心持ちを大切にしていきたいなと思いました。

（ビーバー隊保護者 T 筆）

私自身は今回初めての参加になります。
昨年の体験集会は私自身都合つかず妻にお願いしたので前回の集会については存じあげません。
高根団委員長の英語でのスピーチ GOOD!!でした。
ケビン隊長の日本語でのスピーチうまかったです。
今回初めて参加させて頂いた体験集会において私自身が感じたのはボーイスカウト活動は世界共通で『お気遣い、お心遣い』があると思いました。ケビン隊長が日本にいらしての日本語での皆様に対するスピーチ、印象深く心に残りました。
日本に来られた方へ対する高根団委員長からケビン隊長へのおもてなしを含めた、アフレコなしで言われたメッセージ、かなり練習されたと思いました。この相思相愛の関係があるからこそ世界中のボーイスカウト活動が成り立っていると思いました。また、関係者皆様から体験集会へ来られた子供達と保護者の皆様へ対するお心づかいとお気遣いが感じられました。
この体験集会が、一年ある中の活動において重要な役割があると感じました。
日本から世界において、未来ある新たなるメンバーが入隊される事をここに願います。

ビーバー隊保護者　大田邦満

目黒１団のＶＳ隊は多くの「富士スカウト」を出すなど、ここ数年大活躍です。今年も新人スカウトを迎えますますパワーアップが期待されます！　受験も終わり本格始動を迎えたベンチャー隊今年の新ベンチャースカウト３名の活動へ向けた抱負を紹介します。

VENTURE NOW !

新入スカウト歓迎集会

４月から新年度が始まり、ベンチャー隊にも休隊中のスカウトが受験を終えて参加できるようになりました。その新入スカウトを歓迎する為に、ベンチャー隊の先輩達が企画した歓迎集会が４月上旬に行われました。
集会当日は雨が降りそうな天気でしたが、ベンチャー隊の陽気さのおかげ（？）か何とか降らずに集会を行う事が出来ました。集会は高校２年生のスカウトが中心となって BBQ で新入スカウトを歓迎しながら、ベンチャー隊がどういった活動を行うのか昨年度の活動実績を踏まえて体験談を伝えました。ベンチャー隊の活動はボーイ隊までとは異なり、スカウト自身が企画・計画することに主眼を置いていますので、新入スカウトには良い刺激になったと思います。
ベンチャー隊は新入スカウトを含め、前年よりも更に人数が増えてより活気が出てきました。今後のベンチャー隊の活躍にご期待下さい！

VS隊･小松スカウト

ボーイスカウトはビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャー、ローバーとありますが、ベンチャー隊はその中で大きく変わる瞬間だと思っています。今までリーダーの皆さんが決めていたことが、今度からはすべて自分たちで計画をおこない実行していくようになります。
それを知ったときは大変で少し面倒くさいと思いました。しかし、よく考えてみるとこれはチャンスだと思いました。なぜなら先ほどいったように自分で決めるからです。自分の頑張り次第でどこまでもいくことができるのです。私はこのチャンスをいかせるよう、スカウト活動をおくりたいです。また、「ベンチャー」という言葉には冒険、思い切って進むという意味があります。この言葉のように今年から何事にも臆せず進んでいきたいです。
そして今年は世界ジャンボリーに参加をします。世界との交流で今一度平和について考えこれからの未来を担ううえで何をすべきなのかともに考えていきたいと思っています。

ＶＳ隊・山中スカウト

わたしのベンチャー隊での抱負は、一つ目は、今までのボーイスカウト活動を通して取得してきた技術を生かして、ベンチャー隊での活動を楽しむことです。分からないことは、まだたくさんありますが、自分たちで活動を計画し実行することを積極的にしていきたいです。計画して活動したいことは、普段はあまり経験できないようなこと、例えば長期間の野営であったり、大きな工作物を作ること、宗教について深く学ぶことなど。そして自分の苦手なこと、例えば、野営などこれらのことを好きになれるようにたくさん経験していきたいです。
二つ目に、ボーイ隊では一番上の菊章を取らせていただいたので、それに恥じないように、奉仕の精神を忘れず最後には、富士章を取れるように日々の活動で手を抜かずに励んでいきたいと思います。そのために、まずはベンチャー章をしっかりと取るところから、一歩ずつ頑張ります。
この二つが、わたしのベンチャー隊での抱負です。

ＶＳ隊・塩月スカウト

僕は高校生に上がるとともにボーイ隊からベンチャー隊にもあがりました。高校生活という新しい環境にまだいまは慣れてはいませんが、気持ちを新しく持ってベンチャー隊にも挑んでいきたいとおもっています。
前に説明してもらったベンチャー隊の活動でベンチャー隊になると、ボーイ隊のときとは違い、自分たちで活動を計画して実行するというボーイ隊の時と比べ、自分の好きなことも出来る自由さを生かしてベンチャー隊を楽しんでいけたらいいと思っています。
そして、ベンチャー隊での目標としては、高校で忙しくなってくるとは思いますが、なるべく活動に積極的に参加していきたいと思います。他には、最初の課題はベンチャー賞をとることなので、なるべく早く取れるように取り組んで、色々とやることが多そうですが、努力していきたいと思います。
これから、よろしくお願いします。

各隊活動報告＆活動予定

	15年4月の活動		15年5月の予定	
BV	19日	体験集会	17日	We Love Meguro
	26日	ビバリンピック	31日	団65周年行事
CS	12日	隊集会	10日	隊集会
	19日	体験集会	17日	We Love Meguro
			24日	隊集会
			31日	団65周年行事
BS	18～19日	一泊キャンプ　＆　体験隊集会	17日	We Love Meguro
			24日	ハイキング
			31日	団65周年行事
VS	16日	隊会議	7日	隊会議
	19日	体験集会	17日	We Love Meguro
			31日	団65周年行事
RS		各隊奉仕		各隊奉仕